別紙第２号書式

（第１片）

納　税　告　知　書　・領　収　証　書

国税収納金整理資金

国庫金

右のとおり、納付して下さい。
年　　月　　日
（国税収納金整理資金に関する職名
官　職　　氏　　名印）

（納 税 者）
納　税　地
氏名又は名称

年度	（受入科目）	（　取　扱　庁　名　）	第　　号

	百	十	万	千	百	十	円
本　税							
加算税							
加算税							
告知額計							
延滞税							
合計額							

納期等の区分
納期限
年　月　日限
納付場所

左記の合計額を領収しました。
（領収年月日、領収者名及び領収印）又は（領収者名の表示のある領収日付印）

（第２片）

領　収　済　通　知　書

国税収納金整理資金

国庫金

（納 税 者）
納　税　地
氏名又は名称

年度	（受入科目）	（　取　扱　庁　名　）	第　　号

	百	十	万	千	百	十	円
本　税							
加算税							
加算税							
告知額計							
延滞税							
合計額							

納期等の区分
納期限
年　月　日限
納付場所

左記の合計額を領収しました。
（領収年月日、領収者名及び領収印）又は（領収者名の表示のある領収日付印）

あて先
（国税収納金整理資金に関する職名、官職及び氏名並びに在勤官署名及びその所在地）

（第３片）

領　収　控

国税収納金整理資金

国庫金

（納 税 者）
納　税　地
氏名又は名称

年度	（受入科目）	（　取　扱　庁　名　）	第　　号

	百	十	万	千	百	十	円
本　税							
加算税							
加算税							
告知額計							
延滞税							
合計額							

納期等の区分
納期限
年　月　日限
納付場所

左記の合計額を領収しました。
（領収年月日、領収者名及び領収印）又は（領収者名の表示のある領収日付印）

備　考

1　第１号書式備考（４、７から 13 まで及び 15 を除く。）は、この書式について準用する。この場合において、同書式備考中「納付書」とあるのは「納税告知書」と、「並びに取扱庁名」とあるのは「、取扱庁名、納期限並びに納付場所」と読み替えるものとする。

2　納税者の納税地及び氏名又は名称、年度、受入科目、取扱庁名、納期等の区分、納期限、納付場所並びに金額（延滞税の額及び合計額を除く。）は、この納税告知書の発行者が記載するものとする。ただし、税関が取り扱う国税については、納期限を記載しないことができる。

3　税関が取り扱う国税に係る納税告知書については、各片を納税告知書・領収証書、領収控及び領収済通知書の順に接続するとともに、用紙の大きさの縦を各片ともおおむね９センチメートルとするものとする。

4　電子計算機を使用して第１条第３項に規定する納税告知書を作成する場合で、日本工業規格Ｘ0012（情報処理用語（データ媒体、記憶装置及び関連装置））に規定する非衝撃式印字装置により印字するときは、１において準用する第１号書式備考２及び３にかかわらず、連続して接続した各片に同一内容の２に掲げる事項を印字する方法によることができる。